

AICネットワーク

127

CADSUPER 2020年度版

CADSUPER2020新機能・・・ p.1

スタイルチェックツール
要素プロパティの表示
仮想点ナビゲーション
PDF読み込み機能
複数線端登録機能

新コマンド・・・ p.5

ラウンドオフセットコマンド
角度円コマンド
形状整列コマンド
平対称コマンド
公差複写コマンド

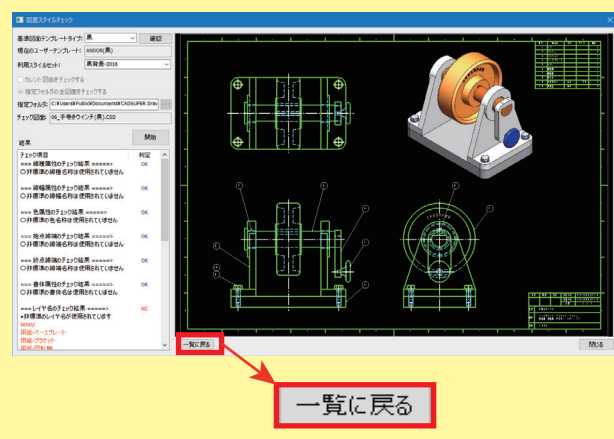
機能強化・・・ p.8

自動トリムコマンド
面積計測コマンド
スマート寸法コマンド
文字記入コマンド
文字整列コマンド

CADSUPER/CADSUPER Liteの対応OS

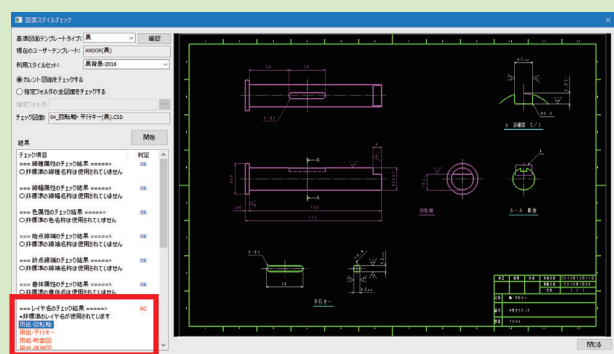
* 記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。

「一覧に戻る」をクリックすると、図面が閉じ、図面ファイル一覧の画面に戻ります。



ポイント！

NG結果の項目を選択すると、図面内のNG部分を右側のイメージ表示エリアで確認することができます。



図面スタイルチェックが開いている状態で、コマンドを選択すると、表示されている図面に作図編集ができます。

■要素プロパティの表示

グループ認識機能を利用するコマンド(「編集」-「選択」等)で要素を認識した際に、選択要素の情報を表示する「要素」ページを操作パネル1上に搭載しました。また、認識した状態で、「線種」「線幅」「色」「線端」「レイヤ」等の属性情報を変更することができます。

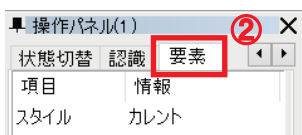


(操作方法)

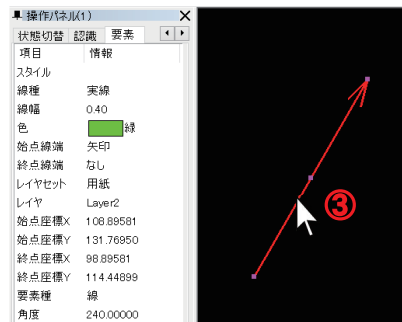
①グループ認識機能を利用するコマンドを実行します。

(例)「編集」-「選択」コマンド

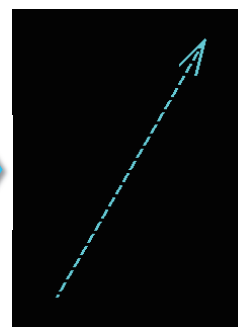
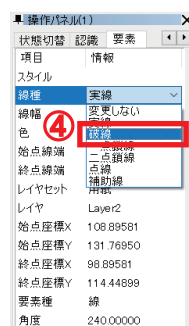
②操作パネル1を「要素」タブに切り替えます。



③要素を選択します。



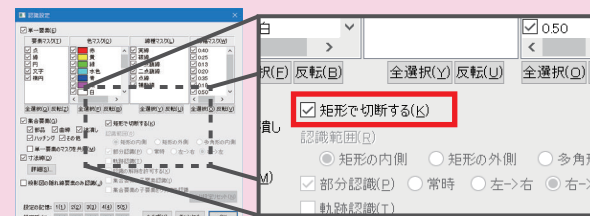
④「情報」の項目をダブルクリックし、属性情報を変更します。(例)線種:実線→破線 色:緑→水色



表示、設定変更内容等は「選択」コマンドから起動する「プロパティ」と同等の機能です。

注意点！

「認識設定」の「矩形で切断する」にチェックが入った状態で要素認識した場合、プロパティによる変更はできません。

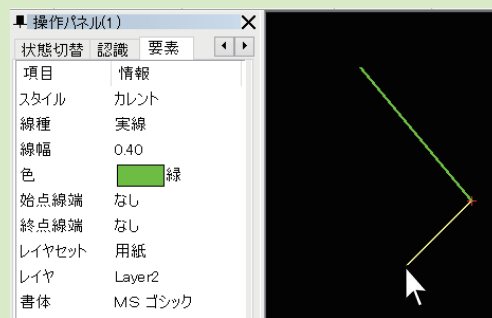


注意点！

異縮尺レイヤへの変更を行った場合、グルーピングは解除されます。

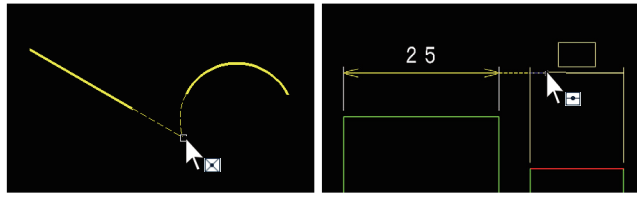
ポイント！

要素が選択されていない場合は、カレント属性が表示されます。操作パネル(1)で、通常の作図(「作図」-「線分」等)時に、属性の切り替えなどができます。



■仮想点ナビゲーション

線分の延長線上、端点の垂直、水平線上などの仮想点、参照機能で算出される仮想交点などをナビゲーションで表示する機能を搭載しました。

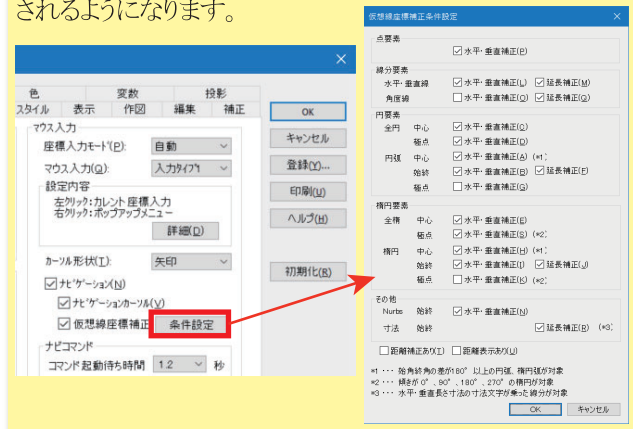


(使用方法)

- ①「設定」→「ユーザープロパティ設定」を実行します。
- ②「マウス」タブの「仮想線座標補正」にチェックを入れます。
- ③「登録」をクリックします。
- ④「OK」をクリックします。

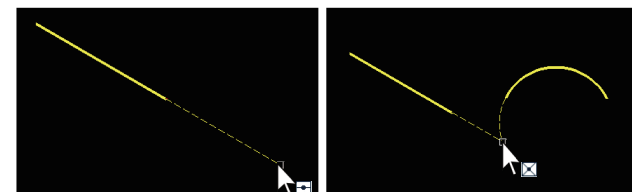


各要素に対する条件は、「条件設定」から行います。
この条件に沿った仮想座標が、ナビゲーションで表示されるようになります。

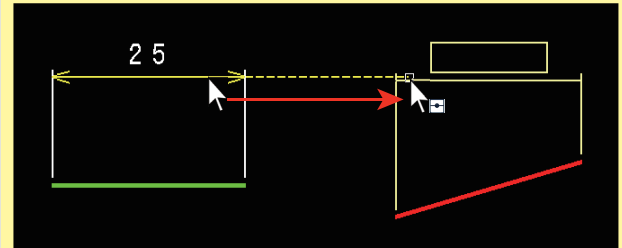


(操作方法)

- ①コマンドを実行します。
(例)「寸法」→「長さ」→「直列」コマンド
- ②端点1、端点2を選択します。
- ③仮想線を表示したい要素上にカーソルをのせ、延長線上にカーソルを動かします。
(仮想交点等の位置を表示したい場合は、複数要素上にカーソルをのせます。)



従来は、グリッド機能や補助線を描いて寸法線の高さを合わせていましたが、仮想点ナビゲーション機能を利用することで簡単に高さを合わせることができます。

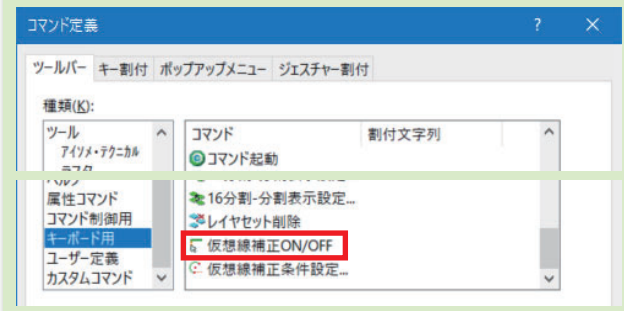


注意点！

要素数が多い図面の場合、対象情報が多くなり、利用しにくい場合があります。仮想線のON/OFFを切り替えてお使い下さい。

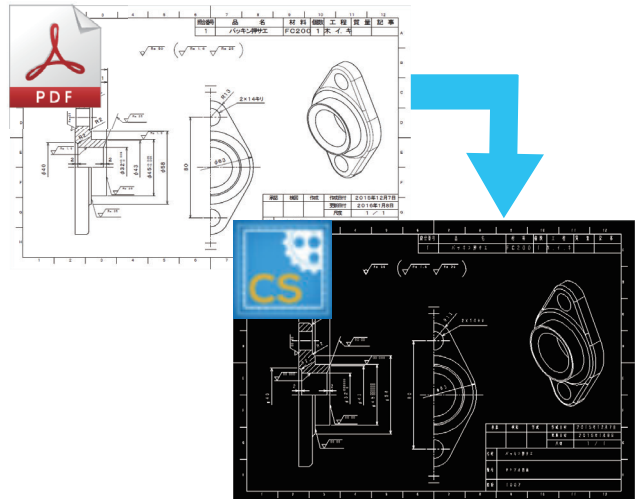
ポイント！

「設定」→「コマンド定義」より「仮想線補正ON/OFF」アイコンまたはキーに割り付けておくと、非常に便利です。



■PDF読み込み機能

PDFデータ内に持つベクトル情報を、読み込むことができ、PDFデータから形状を取得できる機能を搭載しました。



(操作方法)

- ①「ファイル」→「開く」を実行します。
- ②「ファイルの種類」をPDFファイルに変更します。
- ③ファイルを選択し、「開く」をクリックします。

PDFファイルは、標準テンプレートで開かれます。

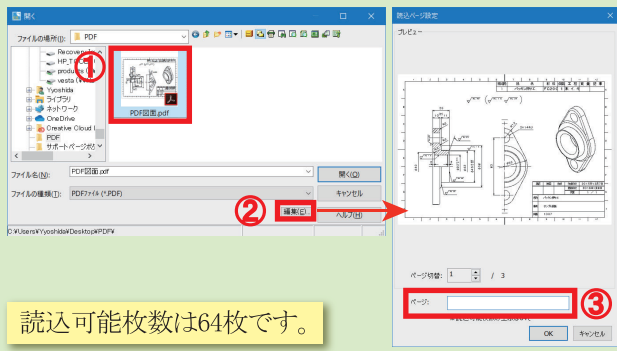
注意点！

PDF内ベクトルデータは、精度的に高品質ではありませんので、「形状取得」程度の機能としてご利用ください。

ポイント！

＜PDFファイル内のページ指定を行う場合＞

- ①PDFファイルを選択します。
- ②「編集」ボタンをクリックします。
- ③「ページ」にCADSUPERに読込みたいページを入力します。
(例)3ページ目だけ→「3」、2～6ページ→「2-6」



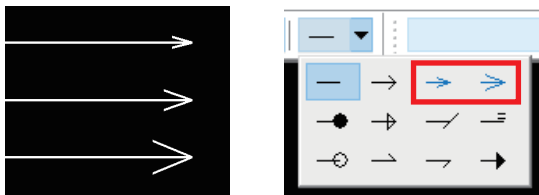
読込可能枚数は64枚です。

注意点！

データ内にベクトル情報があるPDFファイル(例:CADから出力したデータ)は読み込みできますが、ベクトル情報がないPDFファイル(紙図面等をスキャンしたデータ)は読み込みができません。
※ラスターベクトル変換などは実行されません。

■複数線端登録機能

サイズ違いの線端情報を登録、利用できる機能を搭載しました。

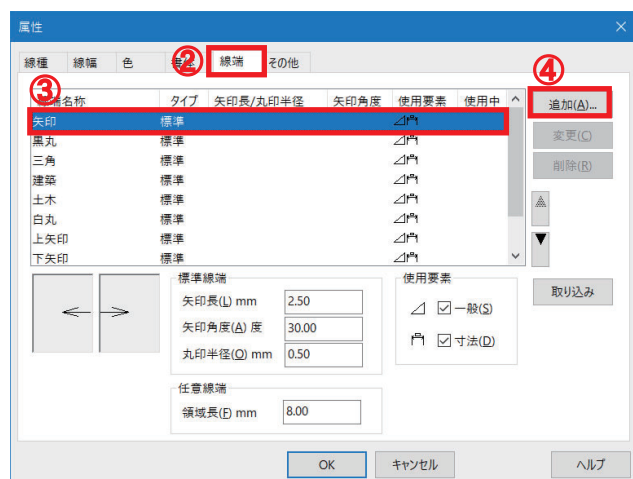


ポイント！

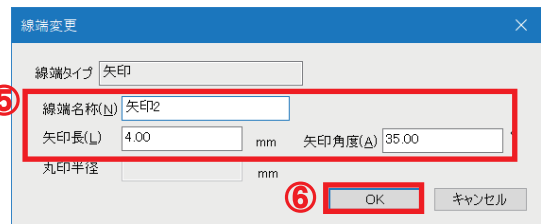
線端を複数登録しておくことで、組図などの細かい図面で、異なる指示などに利用でき、見やすい図面を作成できます。

(操作方法)

- ①「設定」－「属性」を実行します。
- ②「線端」タブを開きます。
- ③変更元となる線端を選択します。
- ④「追加」ボタンをクリックします。



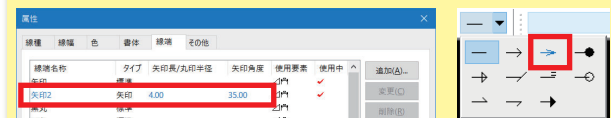
- ⑤「線端名称」「矢印長」「矢印角度」を入力します。
(例)線端名称:矢印2、矢印長:4mm、矢印角度:35°
- ⑥「OK」をクリックします。



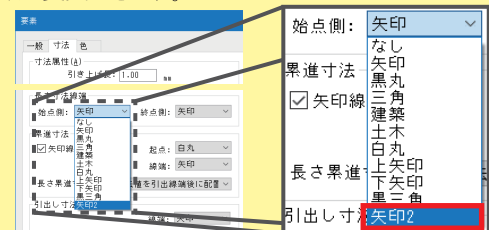
注意点！

線端登録数は上限8個です。9個以上は登録できませんので、ご注意ください。

「設定」－「属性」の「線端」ページと選択リスト上では、追加された線端は、青色で表示されます。



「設定」－「要素」の「寸法」ページの線端にも追加され、寸法線の線端を変更できます。



ポイント！

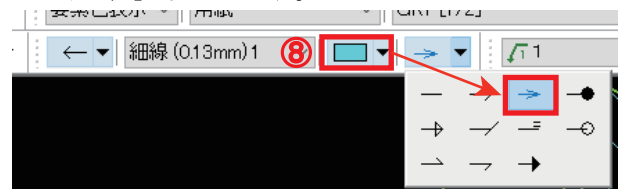
「設定」－「属性」の設定は、テンプレートファイルに持たれます。設定を保存する場合は、線端を追加後、下記のとおり保存してください。

- ①「ファイル」－「名前を付けて保存」を実行します。
- ②Enterキーをクリックします。
- ③「ファイルの種類」をCADSUPERテンプレートに変更します。
- ④「ファイル名」を入力し「保存」ボタンをクリックします。
(既存のテンプレートファイルに上書き保存でも可能です。)

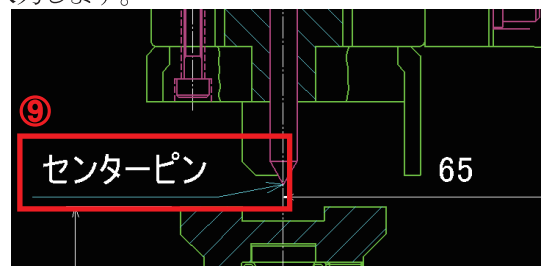
- ⑦作図するためのコマンドを実行します。

(例)「寸法」－「引出し」－「コメント」

- ⑧ツールバーより、色を水色に、線端の始点の線端種類を「矢印2」に変更します。

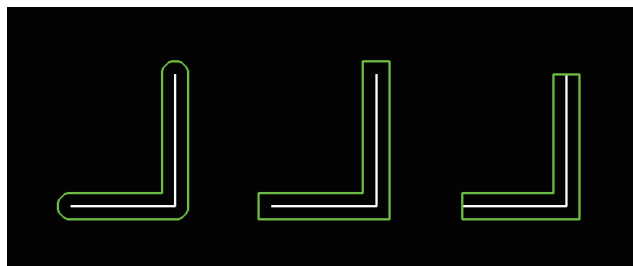


- ⑨始点、中間点、コメント方向を指定し、コメントを入力します。



■「作図」－「ラウンドオフセット」コマンド

サーチループで指定する線/円弧列に対し、両側をオフセットし、両端を閉じた形状に作図する機能を搭載しました。

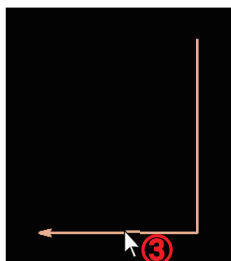


(操作方法)

- ①「作図」－「ラウンドオフセット」を実行します。
- ②コマンドモード2:「円弧」、コマンドモード5:「する」を選択します。



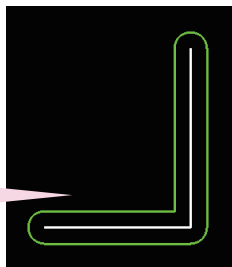
- ③周要素を選択します。



- ④「確定 (Enter)」をクリックします。
(閉ループの場合は、自動的に「確定」が行われます。)
- ⑤「幅」と「回数」を入力し、「確定」します。



注意点！
外側のみ角丸めが入ります。



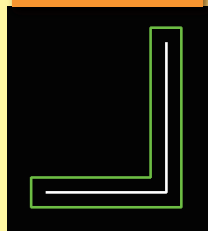
コマンドモード2:「始終形状」

...始点、終点位置の形状を指定します。

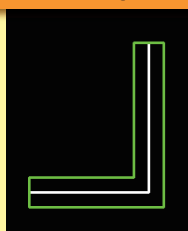
コマンドモード5:「折れ角のラウンド化」

...折れ曲がり位置の外側を丸めるかどうかを指定します。

モード2:矩形
モード5:しない

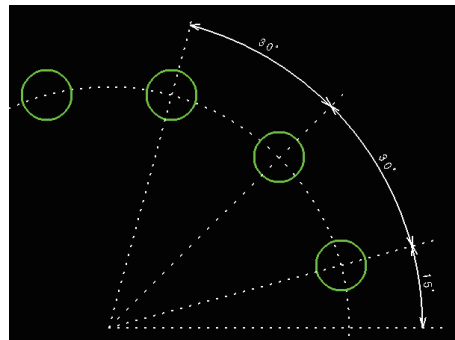


モード2:切り落とし
モード5:しない



■「作図」－「円」－「角度円」コマンド

指定の「中心点」から、「半径」分離れた円状の位置に、「増分角度」毎に「作図円の径」で指定された円を「指定個数」分配置する機能を搭載しました。

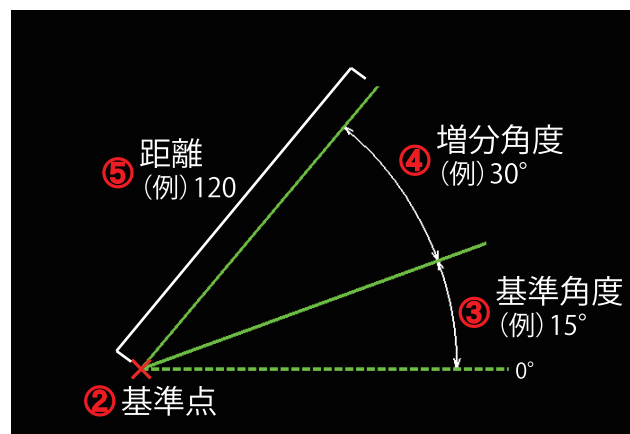


ポイント！

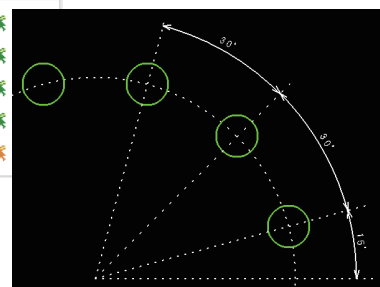
従来は、「点」－「角度点」と「円」－「中心点 (径固定)」で描いていたものが、一度に描けるようになり、作業効率が上がります。

(操作方法)

- ①「作図」－「円」－「角度円」を実行します。
- ②基準点を指定します。
- ③基準角度を入力し、「確定 (Enter)」をクリックします。
- ④増分角度を入力し、「確定 (Enter)」をクリックします。
- ⑤距離を入力し、「確定 (Enter)」をクリックします。



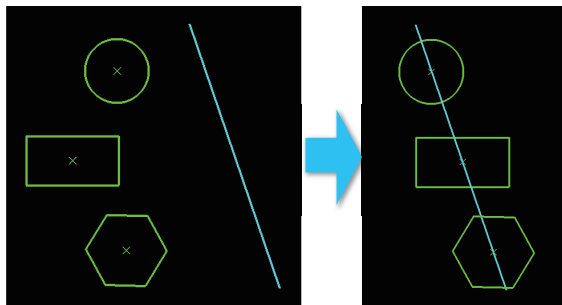
- ⑥個数を入力し、「確定 (Enter)」をクリックします。
- ⑦径を入力し、「確定 (Enter)」をクリックします。



コマンドモード6の「固定値指定」を設定しておくと、径を入力せずに円を描くことができます。

■「編集」－「移動」－「形状整列」コマンド

指定した集合要素の中心を、指定線上のX/Y軸方向に揃える機能を搭載しました。
基準位置として形状中央だけではなく、対象形状の最大矩形の頂点を指定できます。



注意点！

コマンドモード1が「水平」で、限りなく水平に近い角度線の場合は、「指定条件で、編集できません」というエラーメッセージが表示され、整列作業はできません。

(操作方法)

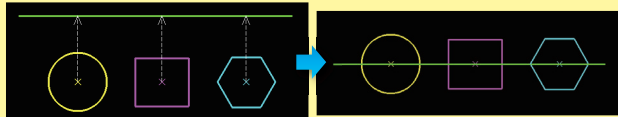
- ①「編集」－「移動」－「形状整列」を実行します。
- ②コマンドモード1～4を下記のように切り替えます。



コマンドモード1: 整列方向

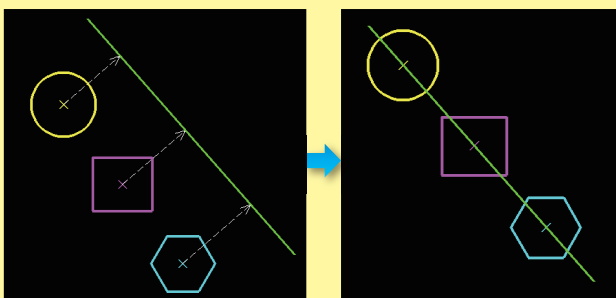
・・・対象要素の整列する方向を指定します。

垂直



角度線

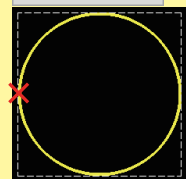
「角度線」の時は、基準要素の始点・終点を選択します。



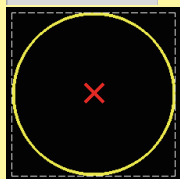
コマンドモード2: 水平基準

・・・揃える形状の水平基準位置を指定します。

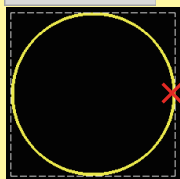
左



中央



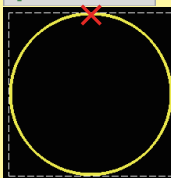
右



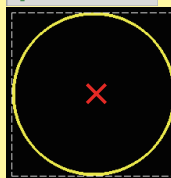
コマンドモード3: 垂直基準

・・・揃える形状の垂直基準位置を指定します。

上



中央



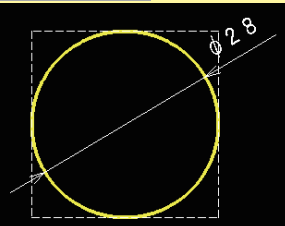
下



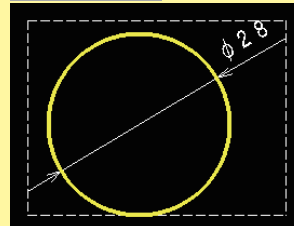
コマンドモード4: 集合内寸法の判定

・・・形状の最大矩形に寸法線を含むか含まないかを指定します。

対象外

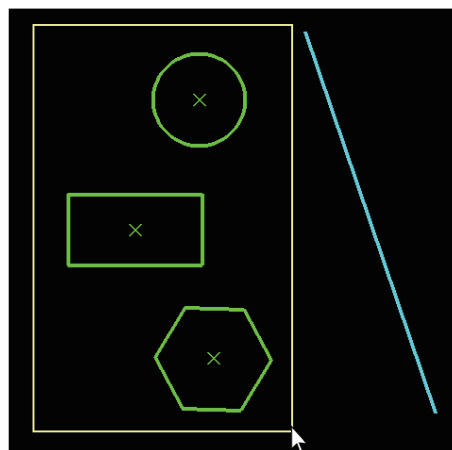


対象



③対象形状を矩形で囲みます。

(対象形状はそれぞれ集合要素にしておきます。)



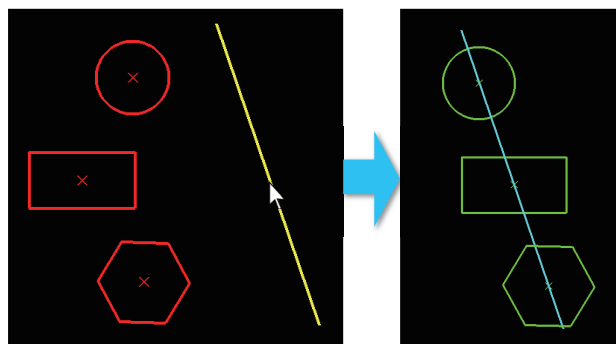
注意点！

対象要素は、円・円弧・楕円・楕円弧・集合要素(曲線・シンボル・寸法等)・文字です。

※単要素の点・線、複数指定時の円弧・楕円弧は、対象外となります。

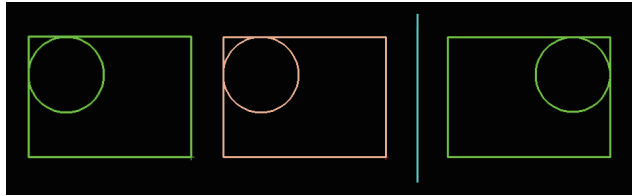
④「確定 (Enter)」をクリックします。

⑤基準要素を選択します。



■「編集」－「複写/移動」－「平対称」コマンド

指定した形状の対称形状を、任意の位置に配置する機能を搭載しました。



ポイント！

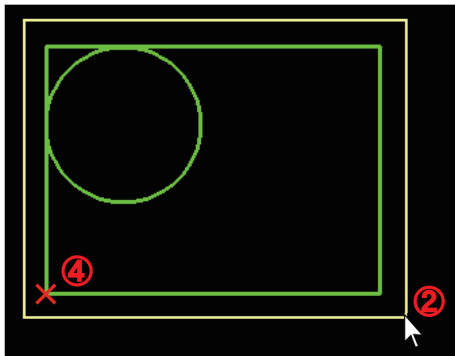
従来の「複写」－「平行」と「移動」－「対称」で作図していたものを一括で行うことができます。

注意点！

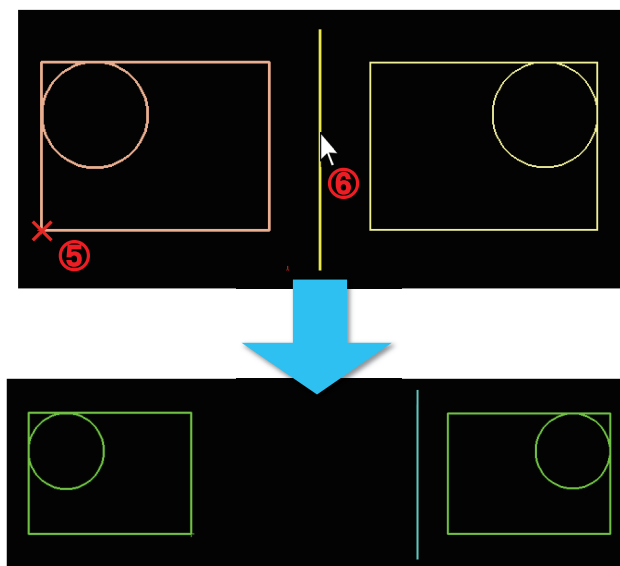
マルチテキスト・表・イメージ要素は、平対称複写/移動の処理ができません。また、詳細図領域要素は、複写できません。

(操作方法)

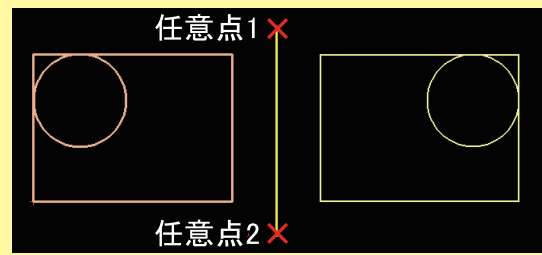
- ①「編集」－「複写/移動」－「平対称」を実行します。
- ②複写/移動する要素を矩形で囲みます。
- ③「確定(Enter)」をクリックします。
- ④基準点を指定します。



- ⑤複写点を指定します。
- ⑥対称軸となる線分を指定します。

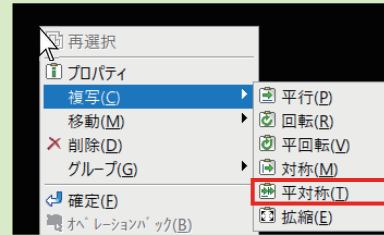


対称軸がない場合は任意点1,2を指定し、複写することができます。



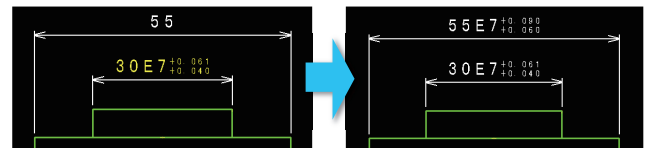
ポイント！

「選択」コマンド、「認識編集」コマンドの右クリックのポップアップメニューにも「平対称」機能が追加されました。



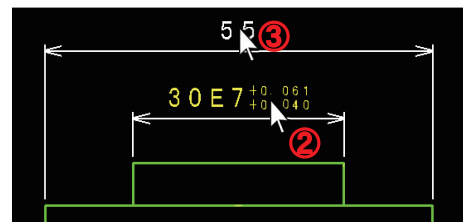
■「寸法」－「公差複写」コマンド

既存寸法の公差を他寸法に設定できる機能を搭載しました。



(操作方法)

- ①「寸法」－「公差複写」を実行します。
- ②複写する公差がある寸法値を選択します。
- ③公差を複写したい寸法値を選択します。



ポイント！

はめあい値の場合(はめあい記号あり)は、寸法に応じた値に編集されます。

コマンドモード1:公差属性

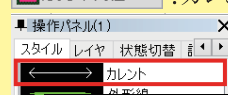
± 変更なし : 属性を変えないで公差複写します。

30 E7 $\begin{matrix} +0.061 \\ +0.040 \end{matrix}$ → 55 E7 $\begin{matrix} +0.090 \\ +0.060 \end{matrix}$

± 寸法値属性 : 複写先の寸法値属性で公差複写します。

30 E7 $\begin{matrix} +0.061 \\ +0.040 \end{matrix}$ → 55 E7 $\begin{matrix} +0.090 \\ +0.060 \end{matrix}$

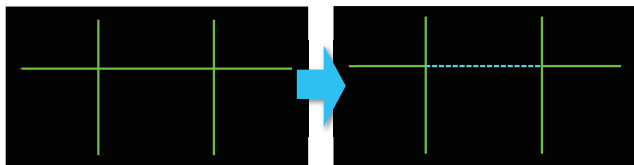
± カレント属性 : カレント属性で公差複写します。



30 E7 $\begin{matrix} +0.061 \\ +0.040 \end{matrix}$ → 55 E7 $\begin{matrix} +0.090 \\ +0.060 \end{matrix}$

■「編集」－「トリム」－「自動」コマンド

自動トリムで切断される範囲を「カレント属性の要素」として範囲属性変更のように動作する機能を搭載しました。



(操作方法)

①カレント属性を変更します。

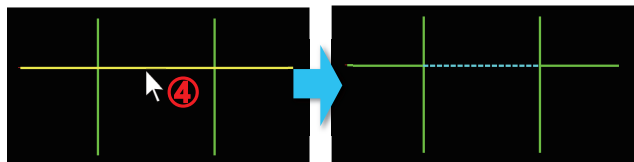


②「編集」－「トリム」－「自動」を実行します。

③コマンドモード2を「属性変更」に切り替えます。



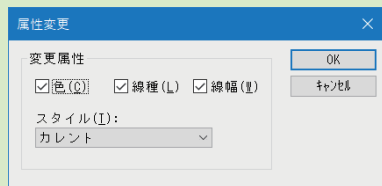
④要素を選択します。



「属性変更」の場合は、伸縮/中抜きされた部分は、指定した属性を持った要素として別要素化されます。

ポイント！

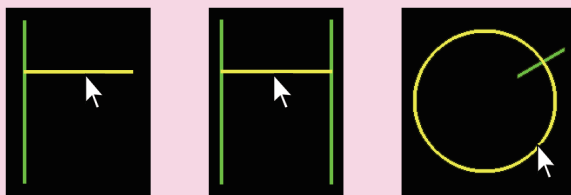
ESCキーをクリックすると、属性変更ダイアログが表示され、任意の設定を行うことができます。
チェックした属性が、選択したスタイルの属性に変更されます。
チェックしなければ、指定した要素の属性で別要素化されます。



注意点！

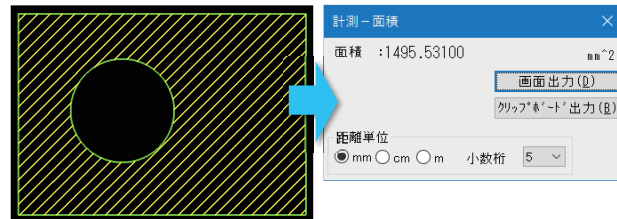
下記のパターンは、トリミングできません。

- ①交点が1個しかなく交点と端点が一致する場合
- ②交点が両端点のみにある場合
- ③円、楕円で交点が一個の場合



■「計測」－「面積」コマンド

ハッチング/塗潰しを行っている部分の面積を計測できる機能を搭載しました。



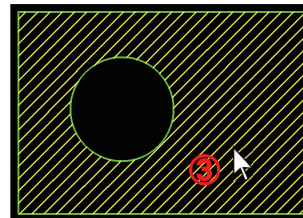
(操作方法)

①「計測」－「面積」を実行します。

②コマンドモード3を「ハッチング指定」に切り替えます。



③ハッチング/塗潰し要素を指定します。

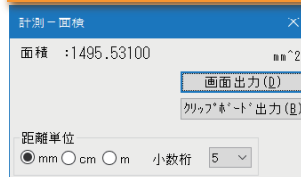


④「次のハッチング(塗潰し)要素を指定しますか？」と表示されたら、マウス右クリックし、「いいえ」を選択します。

次のハッチング(塗潰し)要素を指定しますか？ ((はい(Y)/いいえ(N))

複数ある場合は、マウス左クリック(「はい」)し、他のハッチング/塗潰し要素を選択します。

計測結果



複数のハッチング/塗潰し要素を指定した場合は、それぞれの面積の合計が表示されます。

ポイント！

計測結果は、「画面出力」や「クリップボード出力」ができ、非常に便利です。

画面出力

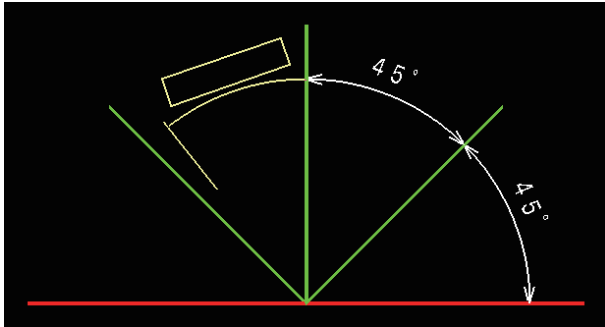


■「寸法」－「スマート寸法」コマンド

下記の寸法に対しての機能がより使いやすくなりました。

●角度寸法

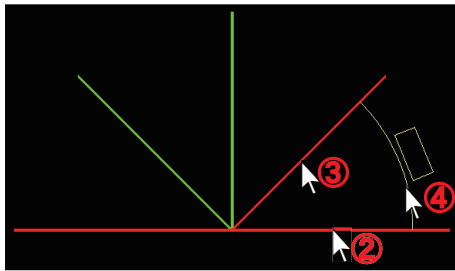
角度寸法の連続作図ができるようになりました。



動作は、直列寸法と同じような選択方法で、連続描画していく作図手段です。

(操作方法)

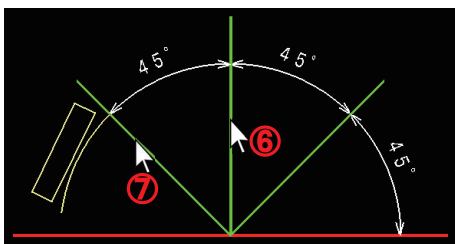
- ①「寸法」－「スマート寸法」を実行します。
- ②線分を選択します。
- ③線分を選択します。
- ④配置位置を指定します。



- ⑤「形状を確認してください」と表示されたら、マウスをクリックし、「はい」を選択します。

形状を確認してください ((はい(Y)/いいえ(N)/TED(T))

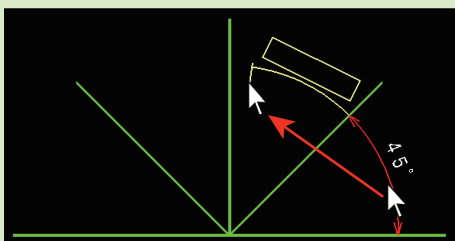
- ⑥線分を選択します。
- ⑦線分を選択します。



- ⑧ESCキーをクリックします。

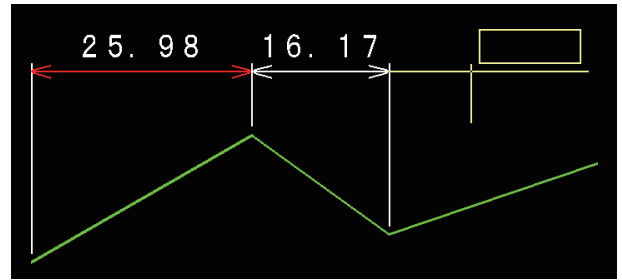
ポイント！

既存の角度寸法を選択することで、角度寸法への追記ができます。



●直列寸法

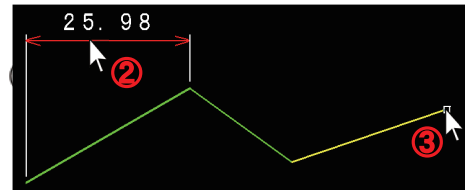
既存の直列寸法を選択した場合に、寸法編集ができるようになりました。



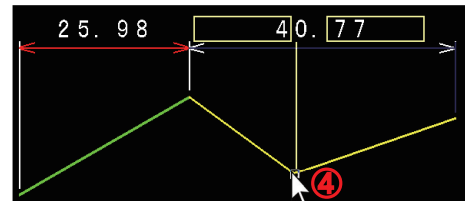
動作は、直列寸法と同じ選択方法です。

(操作方法)

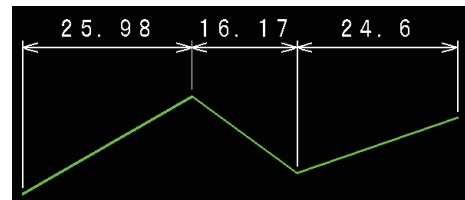
- ①「寸法」－「スマート寸法」を実行します。
- ②描かれている寸法要素を選択します。
- ③端点を選択します。



- ④端点を選択します。

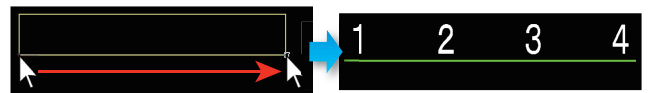


- ⑤ESCキーをクリックします。



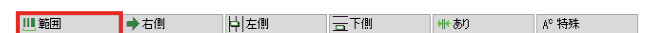
■「文字」－「記入」コマンド

特定の範囲(幅指定)に文字を均等に配置する機能を搭載しました。



(操作方法)

- ①「文字」－「記入」を実行します。
- ②コマンドモード1を「範囲」に切り替えます。



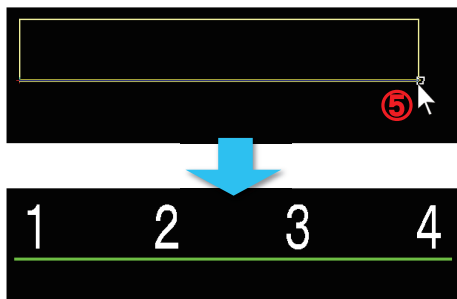
- ③記入点を指定します。



④文字列を入力します。(例)1234



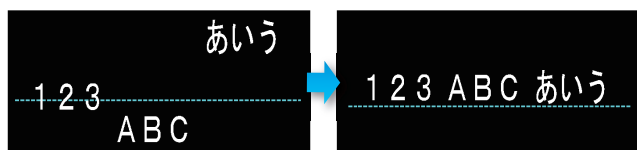
⑤拡張する位置を指定します。



コマンドモード5を「なし」にすると、「文字数」×「文字幅」より狭い範囲は「指定範囲が狭すぎます。再度、範囲指定をして下さい。」というメッセージが表示され、指定できません。

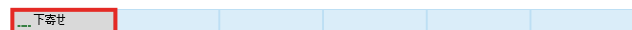
■「文字」－「整列」コマンド

従来は、X軸方向のみの位置合わせでしたが、Y軸方向にも位置合わせする機能を搭載しました。

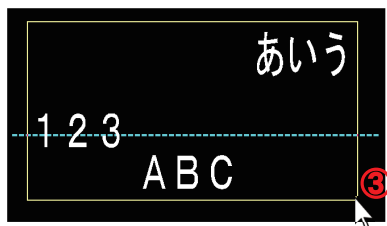


(操作方法)

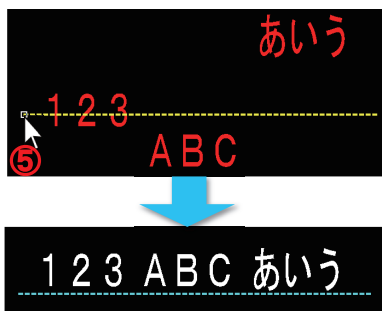
- ①「文字」－「整列」を実行します。
- ②コマンドモード1を「下寄せ」に切り替えます。



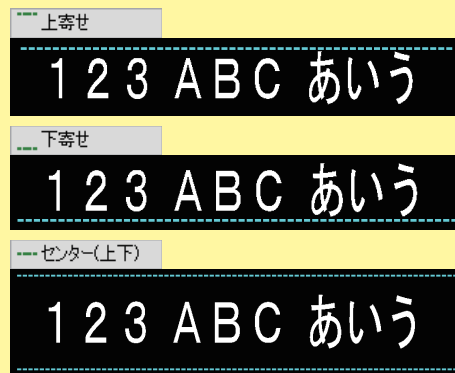
③文字要素を指定または矩形で囲みます。



- ④「確定(Enter)」をクリックします。
- ⑤基準位置を指定します。



コマンドモード1:文字整列



■CADSUPER/CADSUPER Liteの対応OS

CADSUPER 2020/CADSUPER Lite 2020の動作対象は、Windows7・Windows8.1・Windows10の64bit版のみとなります。

注意点！

32bit版のPCにはインストールできませんので、ご注意ください。

		CADSUPER 2019	CADSUPER 2020	CADSUPER Lite 2019	CADSUPER Lite 2020
Windows10	32bit	○	×	○	×
	64bit	○	○	○	○
Windows8.1	32bit	○	×	○	×
	64bit	○	○	○	○
Windows7 SP1～	32bit	○	×	○	×
	64bit	○	○	○	○

Windows10の古いバージョンについても、サービスが終了しているものは、サポート対象外相当となります。

注意点！

「Home/Pro」は1809以降を、「Enterprise」は1709以降をご利用下さい。

Windows10 Build Version	サービスの終了	
	Home/Pro	Enterprise
1511	2017年10月10日	2017年10月10日
1607	2018年04月10日	2019年04月09日
1703	2018年10月09日	2019年10月08日
1709	2019年04月09日	2020年04月14日
1803	2019年11月12日	2020年11月10日
1809	2020年05月12日	2021年05月11日
1903	2020年12月08日	2021年12月08日
1909	2021年05月	2025年5月

＜Windows10の種類とBuild Versionの確認方法＞

- ①「スタートメニュー」－「設定」を実行します。
 - ②「システム」をクリックします。
 - ③「バージョン情報」をクリックします。
- 「Windowsの仕様」の「エディション」で種類を、「バージョン」で現在のBuild Versionをご確認いただけます。

★お知らせ★

サポートページにてAICネットワーク127号の操作動画を公開しています。 <http://wcnt-tr.andor.co.jp/support/support/index.html>

AICネットワーク ご提供方法変更 連絡

この情報誌は、弊社ユーザー登録情報に基づいて送付しております。
お届け方法の変更をご希望の場合は、下記の内容をご記入の上、FAXを送信くださいますようお願い申し上げます。

■AIC ネットワーク お届け方法の変更

ご希望方法に ✓してください	☐ メール連絡希望
	Mailアドレス: _____ @ _____
	☐ 郵送希望
会社名	
部署名	
ご担当者名	

メールアドレスは、インターネット使用環境のものをご使用ください。
アドレスご記入の際は、アルファベットの「O」と数字の「0」、アンダーバー「_」とハイフン「-」のの違いが分かるように、ご協力お願いいたします。

メールでご連絡いただく場合は、aicnetwork@andor.co.jp へ送信ください。

From Editor

桜の花も盛りを過ぎ、吹く風も暖かく感じられる季節となりました。

昨年のゴールデンウィークは大型連休で、旅行や遠出をした方も多かったのではないのでしょうか。今年も日頃のリフレッシュとして少し遠くに出かけてみるのもいいのではないのでしょうか。

昨年のゴールデンウィークの国内旅行人気ランキングで大幅に順位が上がったのが、福岡県です。要因として、とんこつラーメンやもつ鍋などの定番グルメ人気に加え、ゴールデンウィーク期間中に開催される「博多どんたく港まつり」などのイベントも人気急上昇の一つとされています。

「博多どんたく港まつり」とは、治承3年(1179年)の博多松ばやしが始まりとされており、830年以上続く伝統行事です。ひと目見ようと毎年約200万人の方が訪れ、ゴールデンウィーク期間中、日本で最大規模の祭りと言われています。

毎年5月3・4日に開催され、老若男女が思い思いの仮装でシャモジを叩いて町を練り歩き、町に作られた舞台や広場で踊りを披露します。一番の見どころは、どんたく隊のパレードです。芸能人を含む約220団体が繰り広げるパレードは、世界に誇れる日本最大級のパレードです。

皆さんも機会があれば見に行かれてはいかがでしょうか。

アンドール株式会社[®]
AIC Network編集部

〒650-0021
兵庫県神戸市中央区三宮町2-5-1
三宮ハートビル
tel.(078)325-8181 Fax.(078)392-9811